

## 参考文献

- [Anderson, 1983] B. Anderson (1983). *Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism*, Verso Editions, and NLB. ベネディクト・アンダーソン, 『想像の共同体: ナショナリズムの起源と流行』, 白石 さや, 白石 隆 (訳), NTT 出版, 1997.
- [Beck, 2002] U. Beck (2002). *Das Schweigen der Wörter: Über Terror und Krieg*, Suhrkamp Verlag, Frankfurt am Main. ウルリッヒ・ベック, 『世界リスク社会論: テロ、戦争、自然破壊』, 島村賢一 (訳), 平凡社, 2003.
- [Bertaux, 1997] D. Bertaux (1997). *Les Récits de vie*, NATHAN/HER, Paris. ダニエル・ベルトー, 『ライフストーリー: エスノ社会学的パースペクティブ』, 小林 多寿子 (訳), ミネルヴァ書房, 2003.
- [Blumer, 1969] H. Blumer (1969). *Symbolic Interactionism: Perspective and Method*, Prentice-Hall, Inc. ハーバート・ブルーマー, 『シンボリック相互作用論: パースペクティブと方法』, 後藤 将之 (訳), 勁草書房, 1991.
- [Casey, 1987] E. S. Casey (1987). *Remembering: A Phenomenological Study*, Indiana University Press.
- [Cohen and Frederick L., 1980] R. Cohen and J. A. Frederick L. (1980). *Handbook for Mental Health Care of Disaster Victims*, The Johns Hopkins University Press.
- [Frankl, 1947] V. E. Frankl (1947). *EIN PSYCHOLOG ERLEBT DAS KONZENTRATIONSLAGER: Österreichische Dokumente zur Zeitgeschichte I*, Verlag für Jugend und Volk, Wien. ヴィクトール・E・フランクル, 『夜と霧: ドイツ強制収容所の体験記録』, 池田 香代子 (訳), みすず書房, 2002.
- [Geertz, 1973] C. Geertz (1973). *THE INTERPRETATION OF CULTURES*, Basic Books. クリフォード・ギアーツ, 『文化の解釈学』, 吉田 禎吾, 柳川 啓一, 中牧弘允, 板橋 作美 (訳), 岩波書店, 1987.
- [Glaser and Strauss, 1968] B. G. Glaser and A. L. Strauss (1968). *The Discovery of Grounded Theory: Strategies for Qualitative Research*, Weidenfeld and Nicolson. バーニー・G・グレイザー, アンセルム・L・ストラウス, 『データ対話型理論の発見: 調査からいかに理論をうみだすか』, 後藤 隆, 水野節夫, 大出 春江 (訳), 新曜社, 1996.
- [Halbwachs, 1950] M. Halbwachs (1950). *La Mémoire Collective*, Paris, A. Michel. モーリス・アルヴァクス, 『集合的記憶』, 小関 藤一郎 (訳), 行路社, 1989.

- [Hayden, 1997] D. Hayden (1997). *The Power of Place: Urban Landscapes as Public History*, The MIT Press. ドロレス・ハイデン, 『場所の力: パブリック・ヒストリーとしての都市景観』, 後藤 春彦, 佐藤 俊郎, 篠田裕見 (訳), 学芸出版社, 2002.
- [Luhmann, 1982] N. Luhmann (1982). *Liebe als Passion: Zur Codierung von Intimitat*, Suhrkamp Verlag. Niklas Luhmann, *Love as Passion: The Codification of Intimacy*, Jeremy Gaines and Doris L. Jones (translators), Stanford University Press, 1998.
- [Luhmann, 1984] N. Luhmann (1984). *SOZIALE SYSTEME: Grundriß einer allgemeinen Theorie*, Suhrkamp Verlag, Frankfurt am Main. ニクラス・ルーマン, 『社会システム理論』, 上下巻, 佐藤 勉 (監訳), 恒星社厚生閣, 1993.
- [Luhmann, 1988] N. Luhmann (1988). *Die Wirtschaft der Gesellschaft*, Suhrkamp Verlag, Frankfurt am Main. ルーマン, 『社会の経済』, 春日 淳一 (訳), 文眞堂, 1991.
- [Luhmann, 1995] N. Luhmann (1995). *DIE KUNST DER GESELLSCHAFT*, Suhrkamp Verlag, Frankfurt am Main. ニクラス・ルーマン, 『社会の芸術』, 馬場 靖雄 (訳), 東京大学出版会, 2004.
- [Luhmann, 1996] N. Luhmann (1996). *Die neuzeitlichen Wissenschaften und die Phanomenologie*, Picus Verlag Ges.m.b.H. ニクラス・ルーマン, 『ポストヒューマンの人間論: 後期ルーマン論集』, 村上 淳一 (編訳), 東京大学出版会, 2007.
- [Luhmann, 2005] N. Luhmann (2005). *From Soziologische Aufklärung 6: Die Soziologie und der Mensch, 2. Auflage*, VS Verlag für Sozialwissenschaften/ GWV Fachverlage GmbH, Wiesbaden. ニクラス・ルーマン, 『ポストヒューマンの人間論: 後期ルーマン論集』, 村上 淳一 (編訳), 東京大学出版会, 2007.
- [MacIntyre, 1981] A. C. MacIntyre (1981). *After virtue: A study in moral theory*, University of Notre Dame Press. アラスデア・マッキンタイア, 『美德なき時代』, 篠崎 栄 (訳), みすず書房, 1993.
- [Maturana and Varela, 1980] H. R. Maturana and F. J. Varela (1980). *Autopoiesis and Cognition: The Realization of the Living*, D.Reidel Publishing Company, Dordrecht, Holland. H・R・マトゥラーナ, F・J・ヴァレラ, 『オートポイエーシス: 生命システムとはなにか』, 河本 英夫 (訳), 国文社, 1991.
- [May, 2001] T. May (2001). *Social Research: Issues, Methods and Process*, Open University Press. ティム・メイ, 『社会調査の考え方: 論点と方法』, 中野 正大 (訳), 世界思想社, 2005.

- [Merton, 1964] R. K. Merton (1964). *Social Theory and Social Structure: Toward the Codification of Theory and Research*, The Free Press. ロバート・K・マートン, 『社会理論と社会構造』, 森 東吾, 金沢 実, 森好夫, 中島 竜太郎 (訳), みすず書房, 1961.
- [Nora, 1996] P. Nora (1996). *Les Lieux de Mémoire*, Gallimard, Paris. ピエール・ノラ, 『記憶の場: フランス国民意識の文化=社会史』, 谷川稔 (監訳), 岩波書店, 2002.
- [Nora, 1996] P. Nora (1996). *Les Lieux de Mémoire*, Gallimard, Paris. Pierre Nora, 'Realms of Memory: The Construction of the French Past', Lawrence D. Kritzman and Arthur Goldhammer, Columbia University Press, 1998.
- [Raphoel, 1986] B. Raphoel (1986). *When Disaster Strikes : How Individuals and Communities Cope with Catastrophe*, Basic Books, New York. ビバリー・ラファエル, 『災害の襲うとき: カタストロフィの精神医学』, 石丸 正 (訳), みすず書房, 1989.
- [Slovic, 1986] P. Slovic (1986). Informing and educating the public about the risk. *Risk Analysis* 6.
- [Sontag, 2003] S. Sontag (2003). *Regarding the Pain of Others*, Farrar Straus and Giroux. スーザン・ソントグ, 『他者の苦痛へのまなざし』, 北条 文緒 (訳), みすず書房, 2003.
- [Sturken, 1996] M. Sturken (1996). *TANGLED MEMORIES: The Vietnam War, the AIDS Epidemic, and the Politics of Remembering*, University of California Press. マリタ・スターケン, 『アメリカという記憶: ベトナム戦争、エイズ、記念碑的表象』, 岩崎 稔, 杉山 茂, 千田 有紀, 高橋 明史, 平山 陽洋 (訳), 未来社, 2004.
- [Thompson, 1978] P. Thompson (1978). *The voice of the past*, Oxford University Press. ポール・トンプソン, 『記憶から歴史へ: オーラルヒストリーの世界』, 酒井 順子 (訳), 青木書店, 2002.
- [渥美, 2004] 渥美 公秀 (2004). 語りのグループ・ダイナミックス: 語るに語りえない体験から. 大阪大学大学院人間科学研究科紀要 30.
- [安, 1996] 安 克昌 (1996). 『心の傷を癒すということ』, 角川書店.
- [NPO 法人 阪神淡路大震災 1.17 希望の灯りおよび毎日新聞震災取材班, 2004] NPO 法人 阪神淡路大震災 1.17 希望の灯り ., 毎日新聞震災取材班 . (2004). 『思い刻んで: 震災 10 年のモニュメント-』, どりむ社.
- [小内, 2003] 小内 純子 (2003). コミュニティFM 放送局における放送ボランティアの位置と経営問題. **社会情報** 13(1).

- [加藤, 2005] 加藤 晴明 (2005). コミュニティFMのアイデンティティ-地域・メディア・自己の連環をめぐるフィールド調査から. **社会情報学研究** 9(1).
- [金山, 2007] 金山 智子 (2007). 『コミュニティ・メディア: コミュニティFMが地域をつなぐ』.
- [河合, 2002] 河合 隼雄 (2002). 『物語を生きる: 今は昔、昔は今』, 小学館.
- [国友および井庭, 2007] 国友 美千留, 井庭 崇 (2007). 震災復興における治癒のコミュニケーションとメディア. **社会・経済システム** 28.
- [桜井および小林, 2005] 桜井 厚, 小林 多寿子 (2005). 『ライフストーリー・インタビュー: 質的研究入門』, せりか書房.
- [佐藤, 2006] 佐藤 郁哉 (2006). 『定性データ分析入門: QDA ソフトウェア・マニュアル』, 新曜社.
- [高野および渥美, 2007] 高野 尚子, 渥美 公秀 (2007). 阪神・淡路大震災の語り部と聞き手の対話に関する一考察: 対話の綻びをめぐる. **実験社会心理学研究** 46(2).
- [樽川, 2007] 樽川 典子 (2007). 『喪失と生存の社会学: 大震災のライフ・ヒストリー』, 有信堂高文社.
- [富永, 1995] 富永 健一 (1995). 『行為と社会システムの理論: 構造 - 機能 - 変動理論を目指して』, 東京大学出版会.
- [中野および桜井, 1995] 中野 卓, 桜井 厚 (1995). 『ライフヒストリーの社会学』, 弘文堂.
- [長岡, 2006] 長岡 克行 (2006). 『ルーマン: 社会の理論の革命』, 勁草書房.
- [行方, 2005] 行方 均 (2005). 『記憶の語りと語りの記憶』, 南雲堂フェニックス.
- [日本コミュニティ放送協会, 2004] 日本コミュニティ放送協会 . (2004). **日本コミュニティ放送協会 10年史: 未来に広がる地域の情報ステーション** .
- [日本自然災害学会, 2002] 日本自然災害学会 . (2002). 『防災辞典』, 築地書館.
- [日本リスク研究学会, 2000] 日本リスク研究学会 . (2000). 『リスク学辞典』, TBSブリタニカ.
- [濱谷, 2005] 濱谷 正晴 (2005). 『原爆体験: 六七四四人・生と死の証言』, 岩波書店.
- [人と防災未来センター, 2005] 人と防災未来センター . (2005). **阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター図録-「1.17は忘れない-記憶を未来につなぐ-** .

- [人と防災未来センター, 2007] 人と防災未来センター . (2007). 平成 18 年度 年次報告書 .
- [朴および茂呂, 2006] 朴 東燮, 茂呂 雄二 (2006). 談話の進行と状況の定義が作るダイナミクス: 社会文化活動の心理学における相互行為、談話、会話、言説, 能智 正博 (編), 『<語り>と出会う: 質的研究の新たな展開に向けて』, ミネルヴァ書房, 2006.
- [樋口, 2005] 樋口 謙一郎 (2005). 言語サービスとしての多言語コミュニティ放送の可能性と課題: FM わいわいの事例から外国人住民への災害情報提供を考える. *NIRA 公共政策研究セミナー報告書* (2004-02).
- [三木, 2001] 三木 英 (2001). 『復興と宗教: 震災後の人と社会を癒すもの』, 東方出版.
- [安田, 1981] 安田 三郎 (1981). 『相互行為・役割・コミュニケーション』 第 II 巻, 東洋経済新報社.
- [山中, 2005] 山中 茂樹 (2005). 『震災とメディア: 復興報道の視点』, 世界思想社.